

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【公開番号】特開2008-193578(P2008-193578A)
【公開日】平成20年8月21日 (2008.8.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-033
【出願番号】特願2007-27992(P2007-27992)
【国際特許分類】

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

A 6 3 F 13/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 H

A 6 3 F 13/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月26日 (2010.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パスワードの入力、及びアプリケーションを実行に関して年齢に応じた制限を行うための設定入力を行う入力手段と、

前記入力手段を介して入力されたパスワードの認証手続きの後、前記設定入力に基づいてアプリケーションの実行の制限を行う機能制限手段と

を備えたことを特徴とする携帯電話機。

【請求項 2】

現在時刻を取得する時刻取得手段と、

前記設定入力は生年月日情報であり、この生年月日情報と前記時刻取得手段によって取得された現在時刻と前記生年月日情報とから年齢情報を求める年齢算出手段とをさらに備え、

前記機能制限手段は、前記年齢算出手段によって算出された年齢情報に応じてアプリケーションの実行を制限すること

を特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話機。

【請求項 3】

各アプリケーションは実行可能な年齢情報に対応付けられており、前記機能制限手段は、算出された年齢情報に基づいて、前記各アプリケーションの実行を制限させるか否かを管理することを特徴とする請求項 2 に記載の携帯電話機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明に係る携帯電話機は、パスワードの入力、及びアプリケーションを実行に関して年齢に応じた制限を行うための設定入力を行う入力手段と、前記入力手段を介して入力されたパスワードの認証手続きの後、前記設定入力に基づいて

アプリケーションの実行の制限を行う機能制限手段とを備えたことを特徴とする。